

【ねがいましては】

平成25年2月25日

KYOWA SCHOOL

第268号

「輝くとき」

年が明けて、俄然受験生たちの表情に緊張感を感じるようになりました。数年前より千葉県の入試制度が変更になり、特色科選抜（生徒の得意とするものを選考基準にする・・・部活動で培った技術など）がなくなり、一律5教科での受験が必須となりました。前期・後期の2回に渡って行なわれます。前期で合格してしまえば、後期は受験しなくてもよく、前期で落ちたものは、後期で受験校を再度選択し受験します。もちろん変更しなくても結構、変更しても結構。

目的を持って取り組むことは大切なのですが、勉強が、学ぶことが競争の材料になってしまうことに、私は違和感を持っています。

先日、某テレビ局で中学入試当事から10年後の追跡調査をしていました。ごく限られた方の追跡ですから、データとして捉えることは難しいと思いますが、興味深い内容でした。ある男性は24歳、開成中学受験成功、とんとん拍子に有名大学から一流企業へ、しかし半年で退職。社会に対する認識不足だご本人の言。あるお母さまからの投稿も紹介されました。大学へ入ってから意気消沈、結局退学を余儀なくされ、今その方は無職だそうです。

合格とは何なのか、成功とは何なのか、考えさせられるものでした。

今年は当教室、開塾始まって以来最も輝いていた受験シーズンでした。（まだ終わってはいないのですが・・・）

質問、質問、質問・・・私は Hello! と、元気よくいきたいのですが、実はへろへろ・・・。そのへろへろが小気味良い感動を与えてくれます。学ぼう！前進しよう！という気持ちがひしひしと伝わってきます。

勉強というと、講義を聴いて学ぶ、という図式が当然のように感じられますが、ここでの勉強は、自分で自分だけの道を歩む、その過程で出てきた質問をすかさず聞くというスタイルです。ですから、入試問題につながる複合型の問題になりますと、もうこれが「・・・」となるわけです。一番鍛えられているのが私になるわけです。おかげさまでどんなに年を重ねても「ボケ」なくてすみそうです。

音読をしながら、重要な部分は書きながら・・・。時間が来ているにもかかわらず、誰もやめようとしないう緊張感のある空間。おかげさまで予定の時間を1時間オーバーすることもしばしば。

そして初めて出ました。学校休んで朝からここで勉強さん。もちろん私は冗談のつもりで言っていたこと。「お母さんが許可すれば来ていいよ。」・・・。「お母さんがOKだって！」と、本人。（学校の先生、ごめんなさい）

「どうしても学校の教室だと集中できないから・・・。」「はいはい！」と、私。

入試が近づき、毎週のように受験生対象の無料ランチが続きます。昼食を終えると、誰となく声を出します。「よし、〇〇時から始めよう！」私はただの質問受け屋さん。

彼らは歩こう、とにかく歩こうとします。それが生きよう、とにかく生きよう！に映るのです。

失敗、いいじゃないか。壁にぶつかってなかなか進まない、いいじゃないか。ぶつかって動けないのは、前進しようとしているからわかること。後ろ向きになっていたなら、壁だということもわからずじまいです。

彼らから徐々ににじみ出てきたあるひとつの「こころ」があります。

そのままこの歩き方を続けていたい。

良かったね！君たち、本当の本物の「学び」を見つけたようですね。吸収力はゆっくりでも、勉強が持っている本来の楽しさを感じ始めたようですね。やらされる勉強から、やろうとする勉強へシフトチェンジできたようですね。

2年前に天国へ旅立ったJちゃんは、高校が決まってからその年の最初の定期テストで学年1位をとりました。取りたくて取ったのではない。学ぶことの真髄を感じることができただけだと思っています。誰と比べるわけでもない。誰を意識するわけでもない。自分の中に、ただ歩いてみたいという気持ちがあっただけ・・・。

もう数人の子たちが、そのまま受験が終わっても今のままの歩みでいたいと宣言しています。

良かったね！

どうぞ思い切り自分だけの学びの空間を旅してください。ある子は自分だけの教科書作りに勤しみそうです。ある子はPC技術を身につけたいと思っています。ある子は高校数学を先取りしたいと考えています。ある子は取れずにいたそろばんの級を目指しています。ある子は今、お天気にはまっています。気象についてのめり込んでいきそうです。

競争・評価・成績、そのどれもから100%開放された世界は、あなた方に学ぶことの楽しさを感じさせてくれました。そしてあなた方のすべてに与えられたプレゼントがあります。

「歩もうとするところは無限大である」ということです。

やりなさいと命令されてきた勉強は、ある時点で歩みを止めてしまいます。「合格」「やったー！思い切り遊ぶぞー！」まったく向かわなくなります。でもあなた方は、歩みを止めることなく歩き続けようとしています。

あなた方の生きるぞ！生きてやるぞ！というポジティブを、何より目を細くしてらっしゃる方々がいます。

そうです。あなた方のご家族です。結果はどうであれ、生きようとしている我が子を見るたびに、目頭を熱くしない親はいません。本当の親孝行を知ったようですね。ありがとね。